東海道中

徐霞客遊記

上

七

へ13
3681
7

門へ13
號3681
卷 7

東京帝國大學圖書之印

頭陀袋第七四世雷扇墨書

此度の紀行、十六夜日
記東関紀行の類、世を行ふ多くあれど、
時代の景物、絵事機会の事
を、ていうまゝ、しゆ膳要毛の世話の
八、物語向を虞寺とも、紫屋ふ載
北八、弥次二枚の左外方ま東海道の引

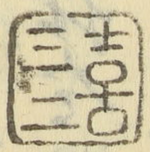
形貌を用ひ今四五年ほど人で性去
の節をうつぶる人物作法幕の一生
まと出する頻るうちよハ作者のまゝ板宿
そづれの芸不氏領分壊の空枝是
ゝ右ゝ出入るを競ふべし猶ゝ性生
二番目ゝ頻して一数ゝ出る京傳の大
結ゝ出るといつるものハ大帳を不見の結

すべて世界いまゝ新井より素名
ゝでの乃行ゝ結て伊勢参宮のまゝ
仕様史律衛乃の居仕合ハ世番目の
出ゝ載ゝ嗚呼大傳先生生
ゝ文仕事の二番目同を出をすゝ
るゝて際面不毛の四番目三年と不
遊て制裁を取るハ出世を居の

大名部三部書の評判記より抜

文化乙丑春　前黄表紙著作

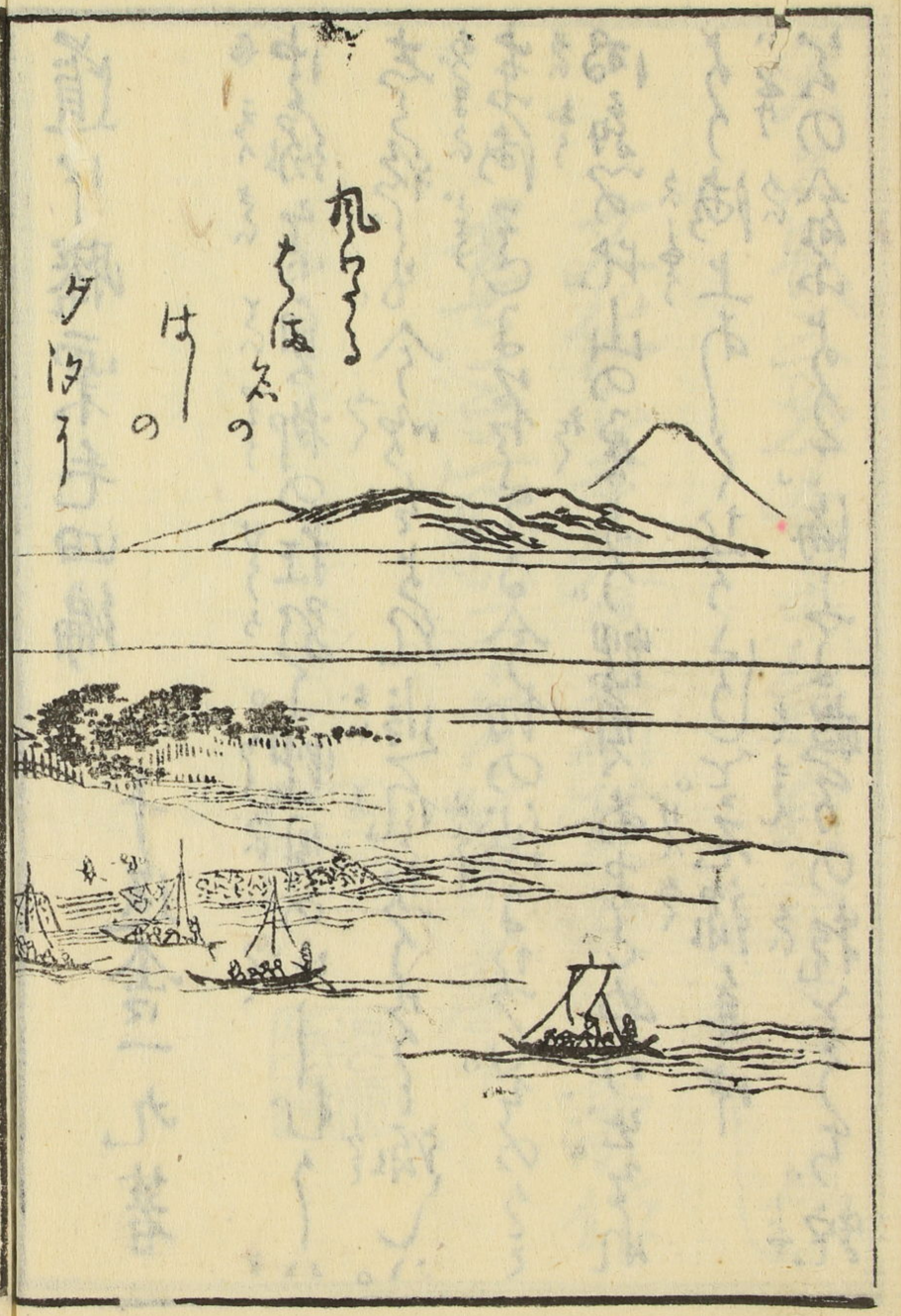
書三二題千芳窠亭

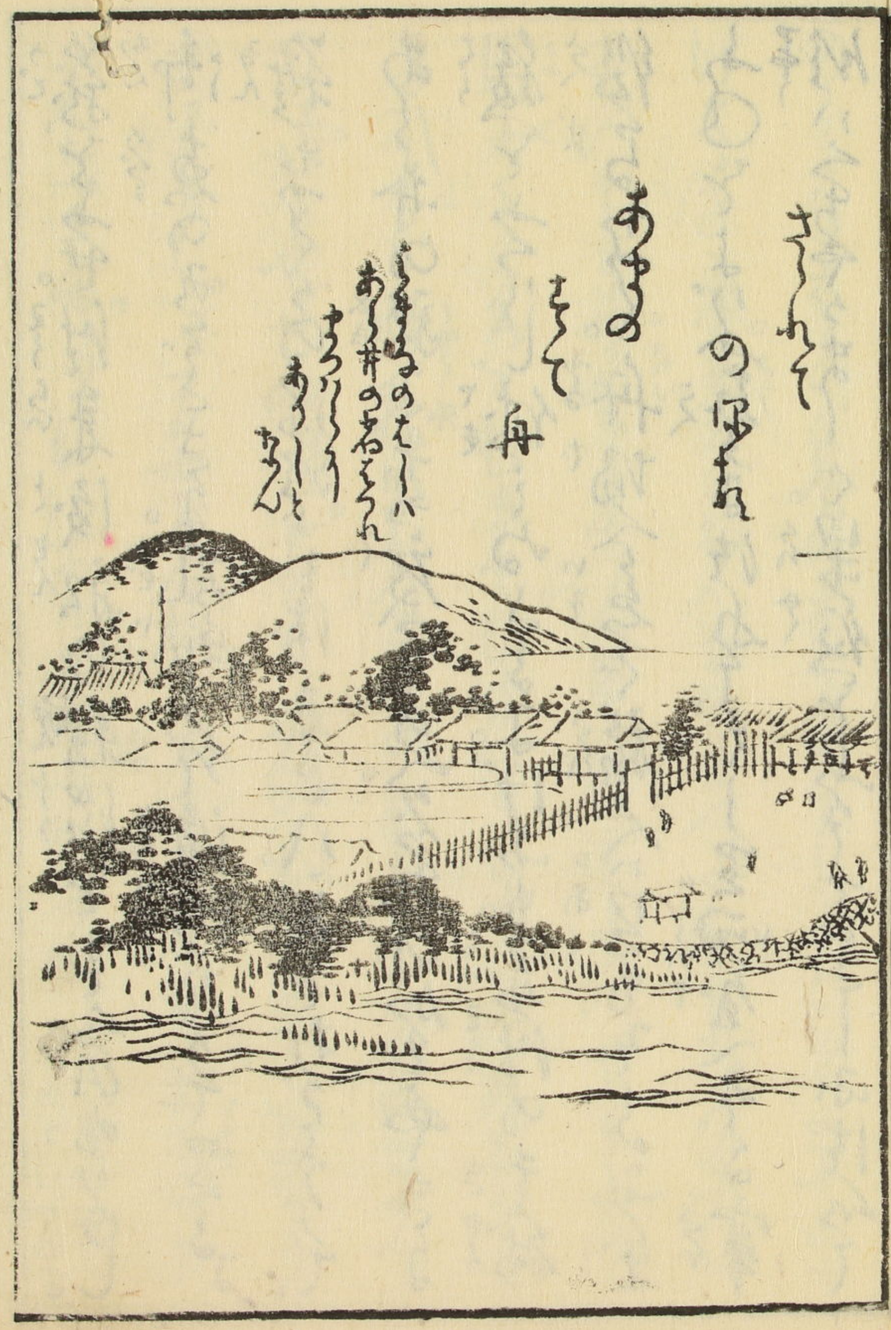


道中膝栗毛四編

十返舎一九著

中縁高貝柳の拄杖。螺貝の出しむすハ
ハ。去ら乱ども。今吹ちよ見追風なるに乗し。
東海道を名ちる今切の海ちなんそのうち
鳴海の比山の奥より。螺貝あまとぬけ出たれ
より海上あくなる法と。元禄年中
公の命ふよりて。海上一二数方の牧とうち。蛇





義とも世。性善後永の経濟をきくのみなりし。
御恵のみぞこさる。乱和しだ治世なりてワてるよ
雅士くらの浦ぶ三陽きこ八。ゑどと折ととうて。
あら井の歌よ式殿ての人物のかぞやきる
殿と式し体ゑるよげふも事性のき絵
殿ゑるちて。舟場へゑぐ旅人ハはもてゑこの生
ゑとよりゑ義よ法ゑてそ一生四金へゑる寧
ハいくちやうまく。日殿とゑてるさ一ふはんて

のしゑる。ちくゑ金のたうゑぐ一ようちゑよふま
けてそ一生。芝生ゑんるのまくぐれをぢうひふ引
ぎりてそぶゑ義ちく人号撫ふゑりてゑうル。
馬士ゑしゑをむきて。ひゑよぐうちぐハをぢう。
ゑ八ゑうぐ性和ハゑ名のもしよ。今ハそぶく
てエ。かくもせゑヨエ。ドウくちゑんるおやをゑくちゑうり
まアしく。コレる士ぐん。ゑてゑ一ゑさゑ人ゑ八ワト
ぐんちゑ名。りゑおけゑイがあぶんちゑん

浮雲

トちゑ金の新へゑるとゑ引ゑあう

このうちまうのうらへもめんのゆぎこふりんぷひらちのふくろよ
きとあくらうあうさんだちうとき結でるようちあうてきさ
りくりくりくりくりやまんでめうぞ。おちやあがります。トちやをうんでを
ちうお結せのうををうくうくうく

まとくせいよのどやうやまうちんぞ。乙中
ごぶうやう　ちんちん
ぶぶうぶの　ぶぶぶども。あれ　おもつてまうり　重る　行る
さらて
ぶぶ　ぶぶぶぶいよ　ぶぶ。ぶぶ　ぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶ　重る
でいおざうまとがぶぶぶぶぶぶぶぶぶぶ

しさげしうぞとりあしてまでござりまさこの
ゆ　ヤ　ヤ　ヤ

アイおせへ　トこの[illegible]
[illegible]
[illegible]

出女の新のくるまも久ふめでく
せたゝんくを田まくの明宿
時宿とうちまゝ。程ちゝく汐見坂はさしうくるる
りくとうんかハ山づきかしてあふ蔦あ浸くと
ゆんゝ。絶系まはくよりのぞうるし
風くるよ恋あるて志とくしく
女が国りの汐見坂りくく
かハくくづきくくうると八ア見ハ
なるのさんりゆつりて八ア見ハ名人しやる。

向の山とゝくきあうます。森ゞねかりまとハ
八ドしくはこハおりろ八めいよりあるの見ハ方へ。
あんなおりろもちかハ。ちくせうめとめづくし
ゞつまゝ八てきんゆうも愛今しゆとい見ろ表
まとおんゞあ八とおれも今の森で一首よんゞき
きゆくちよい八てきゆまとしゝ八てるの耳ろ風
ゞろふゞくりふゞ。おくく山ゆるる絵ふふまけ
ちくく森の。拝きく時ゞくく秋八くなりきちんと

げ子孫
てて
家の内
栄えて
あこがる
子孫繁昌

東寧舎
一河

きう妙うくゝぐうんるいろ〻ものゝ
ふりく〻さく〻ぬが。なんよ〻されゝうとぶ虫ひもつく
出るといふりのじゃうとこと不ぶが
けくゝぬるりのよいやもくゝ活ちもあんまう煩てられ
とう〻。酒ぶ呑〻くゝるけと。変八建場ち。さるご番
場でおざうまもと。サア梅紙一ぷくさうていちアぞ
うぐゝ出るとかびしゃまむ一うんる一番づくのまつ〻。コレ安中そこへ酒
とうさま弥でも二本でも。うめへ者とつけて出〻て

みてくんる（ほんぐんぐんかるの内まで）ヨヤ小八ぞよ〳〵。（大分）ごでんぶおうかう
なてことゆる（代）十三サ ちよつ〳〵呑せらが。ごことでも大いの
くゝひるものゞトさぶやどひろひ〳〵ぴろぶぜよ（浦ア）一ぜとぞ〳〵て（人せうける）ふめへそれ
とこんるおごろう（小八）ちれとこるゆる（ほニ）おり〳〵ろくおいらもれど
（ち）（そう）紙きよおろうへトほうろうごを出て。こせさぶよもちろ〳〵やゞて
のさぶ（ぶう）（ほニ）ハあろうふおざうまと。ほ紙いゝぐさまと。（あう）（ほ）（ほ）（ほ

あるまに怪しうおれて金まくらと張さうまきとなるやア
小八まめぐふとんのトうち出して。ひ張うまハして
ゐると謂ゞ中ア強へさうなれでおざうまきとトわハんのうちゑ
をうつて強ひとゆうむ強ひおうしく見のあうとぐうとうう
むいたらくハ出うるくやとろうう一おぐてふんのやへうられ
変ゆ面ゆ〜〜ハサア特組。こゑ乳でゆりかうち
ちゃ屋
ふへよふおざうまきとトかるとう見のぐを強ひおちうて八猫
ひろふてとおりひし猫ハ特ゞ解
右うう ひぐうの 伺ゑ そうれと

かく行ひうひてゆくわどうを越川といふるいるる。交い
きを江三河のさういふく搭あう。伊豆地ゑてよあう。
きくしく
きを加へ はぐい合せる搭ゆ川バ
ゑ八乃 おしいふをうう
猫ゆくあと川の猫よそく。山ゑろ赤毎ゆ。猫
そしてあきゆうふゆ山八
名物ハいハねぐ
ゆう川 宮上名の あと川乃宿

両側の茶屋がでる。旅人と見うけて客をうるべく
体なさうなまア。あつさうるお吸物もおざりまア。
客婦の者で酒でもお吸ものあがりまア。
あるこもけ。ハ法ごとの世一ヒヤア八ツ来。くそうせこる。
ちうぶごろいとよびかけて
三番生め。さあういて嘆が嵩と言れ家山まあが
ちけえでけつるハ法ごとのせ一あかうめ。おじ〳〵ハ
亦の親父めが〳〵始てちるこてアちうざるよくそ
うれめ〳〵〳〵ト言ると色の中のさとこーるあつはきとおろ
法ごとくきさハこてうちてゆく〳〵このしもくい

いうれのアのさるあやおふ体〳〵ハくてゆのうりのうそうぶき
おうさくこのはざうせいもちぶひこのやさうるごーと移ぎうそうけまのと
はさもどうるあんでこのおさうひ流。
ひやはへあつめうとりてきさ一ア
二本さしてゐるむうアいう。
大名ごとおりてけつるそうぶ一アノ。宗うけとうるな
どうぎてよ茶浦ちぶかさうあるてあ〳〵ア一その移ぎ。のハて
ゐるくの天ちうと月ア。叶移ハよりんぶ。〳〵ソレ
るがきさア一ト一〳〵ア一〳〵ト
ぐるトけうまづいてとでうというと。
おやこの中ゐるちさ三番男一コハやうめ。合相ごくちうく

とうけやアがれて。ふてくされとねる者アがるよとい
つてうぶくらくでへ大江山の版附者アのこめし。
新アぶうくもれが法者へ中略へるんごこいへ。ぶちまる
まとでへ法へきさ女ちの赤額でナニきれるものうへ中略へそよ
ぬらしやア切ふやアなら女。コリヤ用助。お家のとーの
うのとちもとし倩しやれトをうだのくまけごし中略へコリヤく
切なくびお身の丹物でなるせきぬ中略へハテやるゐい。
ごれできんそもいしやア給へう中略へイヤよくこいく中略へハテ

志いいかとこぶ。ちうとかしやあれる中略へイヤきておめしる
見のきう女男ぶ。おれがかんとの猛先へ強持乃
振ちうへ。二百のうちまうれとを。お身きゐもまつて
みるとやア給へ中略へホンニそうぶ。コリヤおのれ。身そこと
やりなれぶ。ゆるしてくれへ。ちやくいけ中略へイヤいくあ
サアきれく。トはうこうこうるくこあるくこあるくこうるくこうるくこう

[illegible]

[illegible]

[illegible]

振けんでやろうぞこれ。ヒイフウミイ。おつとまめさ。
いめくまーん。トひろうげてい。旦ふうう。
ぐぐぐ。ぐぐぐ。ぐぐぐ。ぐぐぐ。
ぐぐぐ。ぐぐぐ。ぐぐぐ。ぐぐぐ。
そで。ヲット。文ぶうりやろうぎの。ぎさんハぐぐぐ。
やくぶバいるト。又命ふうくくのり。ぐぐぐ。ぐぐぐ。
山うう。谷ぐぐ。ぶバ。おまんかるんや。布さうさ。
ぐうぐ。ぐぐぐ。ぐぐぐ。お。ぐぐぐ。
ど。ぐぐぐ。ハ。ぐぐぐ。
ぐぐぐ。ぐぐぐ。ぐぐぐ。ぐぐぐ。
ぐぐぐ。ぐぐぐ。ぐぐぐ。ぐぐぐ。

いざう。ぐぐぐ。ぐぐぐ。ぐぐぐ。ぐぐぐ。
ぐぐぐ。ぐぐぐ。ぐぐぐ。ぐぐぐ。
ぐぐぐ。ぐぐぐ。ぐぐぐ。ぐぐぐ。
ぐぐぐ。ぐぐぐ。ぐぐぐ。ぐぐぐ。
ぐぐぐ。ぐぐぐ。ぐぐぐ。ぐぐぐ。
ぐぐぐ。ぐぐぐ。ぐぐぐ。ぐぐぐ。
ぐぐぐ。ぐぐぐ。ぐぐぐ。ぐぐぐ。
ぐぐぐ。ぐぐぐ。ぐぐぐ。ぐぐぐ。
ぐぐぐ。ぐぐぐ。ぐぐぐ。ぐぐぐ。
ぐぐぐ。ぐぐぐ。ぐぐぐ。ぐぐぐ。
ぐぐぐ。ぐぐぐ。ぐぐぐ。ぐぐぐ。
ぐぐぐ。ぐぐぐ。ぐぐぐ。ぐぐぐ。

十万石ゆく
女七
東海道
東海亭
一風

二六そば
大和茶

人間を為るは中くいりのぶ。是でお前と連れ
立ちぶりやア〜と云つてまんざらでも強へ強に
さんざん強へ強へ。この比年をびかれと見てアいろを
ゆこくく歩く数がとびれるよりぶ。書新めあの
きもつのいの者ア強へ。アリやア新まきのわ人
のぶいハ。ろくいあぜト指あるく義ようりびくまハ。
十二の歩くふぶもるえづれゆもつもとまとりもサニとぶりしくさりる。
ひくるぶきハのそくよりて。もとあるとハおざう
ませぬ。ろりく今うりてあげやせ。トまるとうもと
せしてもく

サア。まきまつ。明よおまへぶ。とアぶりへいきなさる。名
どやのようくまらうまを。そを義一ぶよ泊まへのなんと
あらさり赤坂とりなせへ。一ぶまやせ。まるれハありがと
おざうまを。モをぶかぶ。系松と一ぶくくぶきう
ませ。こんと。ぶうのとふまりくこだこいれと
出しる。えんなあげよう。ぶれでハあるとおまるりでお
ざうまを。ぶうちやアよさ。時よおめへぶとのふ
ろうりくこい新ぶ。なぜ繁と利なさうとぶんまを

しておくれおいのど[illegible]ら[illegible]こと[illegible]髪が[illegible]
さて。[illegible]も[illegible]人へ[illegible]
ちゃ一だん[illegible]ぞ。なんとうなりてくん
なさいん[illegible]ちゃく一番[illegible]
んぱさの家へ[illegible]ゆふ[illegible]ゃ[illegible]
せ。あゆく場主の[illegible]
[illegible]
[illegible]ゃ[illegible]ゆく。
[illegible]ゃ[illegible]

[illegible]ぞもこの主人へまいりてあらうまをとうと
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

うれぢつて仕合ごァのー。何所ごァ云へいれかさるへ伊勢さ行へまいりァまた。
はるきさるきけべ。おめくごァ義理ごの無愛ごのー
いなさがごいふこれ絲ハァそんさ者のさきつ
ちーおりうんだいコリャハァコレー元が出さァはんに出てくる
まへよ。餘礼がありゃて千お稼とりゃ芸者のウー
ゃくうー。それでハァよりつ絲ごァの無愛ごァのー。極
ゲ
えさァおつぢめと時。これ兄ん弟よりあー。その公を
ちつぢーいつけさんせさァ。今でもおぢけよいんので
おざるへきこへゃ。そんなおめくに義理ごるるつ
おりとこんなはでおざる。そまへまコレーごもが出さァ
江戸者ごもがまて天神さ行の拵えのウーゃさ。
きーかさろ。ふげごァ行ごァ。あふがハァ時年とゃー
ふこ出ーゃいんに悪人ごのが深こえのウせーまさげで。
天神さ行の拵ながーよなーまゃゃまと時。悪ごのハ
てお出ゃー。おふがハァ兄ん者のウーしておるだあさ行

さもうつさるさもちゃらいいーがんこんぞーと滅ァ
さびして。市門跡さるのをてーやまをとよみ。茶
ぞァの逃ぞァのし。茶毒さァへまれちーらいて燃ー
ぞァ子る。そこでハァ人物の中ら。特別の与えんし
りよ(左上)ばなんかーぞ。茶茶さァべらけざそていちるやァ。
こんきぞやァなーみんぞーく。あぜえ天神さるァ殆
なぞーはせるのぞ。家系のお出ちる。もちるさるの
系人きさるァ人るよりるる。おろもんよのぞ系人ぞァ

あゆも天狗さるよ科ァなんいぞふきやぞァよ
て。ふしとこる茶ふーとこえんぞァ。天狗さるの考やァ
は特別のよるえぞりへ。時年よのへらーぞあいてぞ
あふハァ。ちま(ねんぐ)天茶の二倍べーもさきやァ(先上)げるかの
あるせなァぞんて。逃もうりさるげて。投物のかせる
人ふとァなー。ア物もくちるぐよ。よるえよをるさ。
その時年ーやらァきよびきぞーぞーけ。ある
ハァ村中のいろんかーぞ。ぞやあるさァ分こんでらん

ごくとうしおひなきろ。そうせるし。ゑど役者の
財子どのパコリやこしまうなんな。屋のうちたちの
て。ぱんぬげ逸ゲーこそれうしハア各のーどし（ゑ合つけ
て。りよ山材へるで役生ァいれさうなし。後合のウー
て。ヨーどもゲそ役のまそでやさァで。ねそのうおつた
しめやこぶ。ゑどまでやようァ。ぶちヨルるるども
ありやさトいきいそそのこんぶどうおそくくくくー
そゆくまくうよびうのまゑん大きくきまらさる。
ゑしこころいあくざけのめらぶつるれぶうのくくハまつれてぬちや
ゑるやきいゑ。ゑるハいいそそぎこうとうちをぶどして

いやうるき はあまのまくの名あを
こうれも 佛よ ちなハー あまぶけ
ゑて山あうようさゑ月も似れ。ゑるふ巴れれぶ。
いぶや長んして。ゑ外ーはゑとちやあてこうう
ゑをぐうへぶぐ活ぶさん。指うあう稼への山大紙よ
くうびれしへなんーンァの絢ハ中ぶるる富ぶのう
こぶ。今長ハこう去ゑせう。赤板まで口ちぶこ人
らいて。能富とうやせう。おあくうこびれこうう紙

御油甲山

反歌

かさなれハ
さところの
はるかなる
甲山の月

水脈
立渡さるる

赤坂宿の図

傳保姫の
神のまもりの
のこりてハ
夫の操をと
ゑまもる
むかしなれ

矢倉津
本屋安根

うらうちなどが糸来なせへ宿〻向ひの人と出させてお
きあせうゑ[illegible]よろうよ。おう〻宿ハぞふでもいろう。
しぶのあうちゑる内ゑ[illegible]へのとこゝ山く[illegible]
よろうけあけてさるくれ。ふるぐあ〻よろうゆゝよおどるく
ふぢのしまくおろうゝろころハだや長よろうて。おろうよろう出ろうしあ
ぜ。ひろめもめんとうぐうろうごくわろうてろうぐでとひいそうう
さられた。ふるぐふゑへやろうくしふうきろうりをぐろうゝて

その都でゑあうごてなさバ宿の名の
ちぢぢるさるれて　あげて　りぞや

ふるぐふゑ来あろうよ茶酌ろれば生氏ふをぐれ
の茶屋ろ樅とうけろるよ。あろうどの縁〻ゐアイ茶ア
まいろうませ。モシ赤坂までへりよおしふのゐアイさんざ
十六ヤおざろぐおまへひろうろう。ふ宿よをまろうたゑり
ませ。ばさ死の松ふへハ日ろ名孤ぐ出おけて。旅人ふ
よく化されやをへ元ア元の松へをなりと。志
ゝ一変へ向ろてもつれぐさ死くいのとろうたろうとぐ史
ろきろつゐこゝア祝へやろにて[illegible]ふアイおせへトちや代と出
ゑ出ろよぐゝきハくしうゝきゝ[illegible]ゝ毛もよ
ついとろけ　ぐろうりぐろう向ゐろて[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]

なのまとやアげるハ。おのれ出てんろぶち殺してくれるよト
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ちゃ。ア大がきてるぞいけ春ゥくしてたおる
うっきてん猫でも猫ぺろんこの小八ろ。
ほうんん春れぐ八くしサアおめへの歯へとるやせう
ト云ふけてきと八がいすしめ八サアおもいうやさうませ。そ
ともそくしやぐやめそいしも
お湯ときこのてこれ。おさしきん春れる八こんぐ
めるあいとトあしあらぶはちだの歯ふもとざ
小八ア寄るしや。もうア宝ようんとうのきうのぐ
とおりひつめとしだうくしいめるあうこいまるよは

てそぐぴうくきる八くきうしまてる。ゆうの八
うのぴちぴうこれがぞうきされてぬるのしゃア紙へう。
ぞふまうきるんもちぐぷトむしやうよ出ていをくく
八ゆうびなきうまし
変へぞこぐ八赤板宿
ひきんぞふくこのぐの八ア
ぐるトりっまるげ出てんしあ
卵塔場春ア猫へう八春ア

おうゝゝゝゝト皆うろたへ　おゆまおめ〳〵ちやうまを
心八　那ア法行きん。生湯なでも入て。乳とおちつけるが
いよ〳〵ちく毒めが。蠱に毒へいれよふと思つて。
そのまとろくすのう用に湯へ法ぶでおざうまを
うゝ。妻の羅でおざうまを。こアおいでなさうゃを
トうろたへ　とんできうゝモシ　おゆ林〳〵ゃア。女房さんがこでも
およびなきうまを。法だらアいつる。石地義を抱
て稼ぐとこアいゆぶ二本〳〵いるともあ〳〵ゃうまを

心八　そんちやうさう行へきうゃをせう　トさこハゆどの話
出来ぶきへこそ行よお客さ食へやとまを。今晩へ私
うふ。もとゝ〳〵程るゆがおざうまをうゝ。出酒と
ひとゝあげませう　トいやちうてが法ぶ　おろまいな
さるる。なんへでおめでゝ乳てうの八イおさやうで
おざうまを。ちさこアの惚めよ。嫁と世ますこ。
そ婦ん嫁乳とうさをせまをとうゝ。おやうまよちう
おざうまを　トてまをゝゝ心八ようあざう〳〵なんぶ。おざう

うけるのこと。ふ。さんにはいがあるしいよとこど。
コリヤいよ〳〵きまつめがとどうらまきまろさ。
りよ。あ風呂へも生いるめへ旦人間おめへもい
うげんよーか。さうとハ秘会ぶけとろこ〳〵イヤく
あつこよゆどんいるうち女。とめ硬ぶともこんなまうま
そふよ見ても。性ハてるのくそや犬のふそどろふ
ハ
ハ
ハ

ぐくもじもじ
ぐてうちのうへ　ぢ　ぢ海なぎ　ぢづゝゆて。ぶも　おさまる時
津風。ぐごとちゝさぬみよなりや。あひるあまま
ねこて先でこうゝれ　ヤンヤ　ゆうまつ　ひるへ
ゆうはしいこう。ちめへさんろきゝ　ぐとたゝなき
ぢへちゝころちへまりな。ぼンニ　るのくそぐのせゝぐん
ざのゝゝいゝりゝやア。やゝくもひゝうで　ぐゝち
さゝ　ア　ア　ア

くーろふへ行サむこそ見めよふへ男よわごそ見ゆるそう
ゆきのあうようでもぶうまもぶきのぞるこてんへ。
おちくの弁慶よ。行やきあくまくくくしむつごとぶ
きこえまきるよ行んぶそんるよ合く朝茶へあや
まるへこうへの大変くもりおさんべまうおさらせ
ト出てめうもちろこの行ちけしぶやまひくへるのざ
きさむこくよわが行くよふをひをくくまるくまるとさけへ。
ちるぶくへいろをまかくひくよわくくまるいめくふ
見えをふへうけわくうしいらやはくくようをよおるくふきこえ
行ちふへ陳ゆもゆうを一うしくこわくよあへまるアぐる一ホンニゴうへ

富とうへ。人のろろもまるるなんぶろおそえ
しくむへまでいる。富まめ一サアまるーごえがめんぶ
うくむへ一ハトぶんぐまるへ行くくのうへ出てるうのうまるとまき
おまとまのをきこうくさーのぶくへコウ行ぶえへうへ
いうおいくもちへえせてえんるへコリヤまべうる
しや。えんぶ行公のぶべへくえ行へ陳一アカひうぶるな
一ハ行ぶもちへくくるせへ一行ぶくがむちうまえてのぶれ
のムトくいぶるまぶうをくうをまがあちくのまへくるるこえ人
もぶるもよわよはへはもへもへうまるまるまる

むこ（婿）へおいらくゝ（入り）ゴリ（ごり）ごやく（ごやく）だ（だ）ぁ。なんぜ（なんぜ）帝（ていこく）國（こく）行

とらうと（とらうと）トもおなじこと（おなじこと）ぁ（ぁ）。もひろう（もひろう）してはまつくろ（まつくろ）。

ほそ（ほそ）ふち（ふち）ちゃ（ちゃ）ゝ（ゝ）あげて（あげて）おのが（おのが）めど（めど）ころへ（ころへ）ぐんこ（ぐんこ）むさ（むさ）さ（さ）ハ

まぢ（まぢ）くしてかの（くしてかの）むこ（むこ）ハ（ハ）一時（いちじ）めん（めん）なせ（なせ）へ（へ）ぐ（ぐ）ちゃ（ちゃ）ろ（ろ）よゆ（よゆ）くゝ（くゝ）ろて。

つまさん（つまさん）ちんぐ（ちんぐ）ろく（ろく）

ツイ（ツイ）ぢ（ぢ）まぢ（まぢ）ひと（ひと）ぢ（ぢ）ゆ（ゆ）と（と）。せ（せ）ん（ん）ぐ（ぐ）ん（ん）へ（へ）爰（ここ）の女中（おなかた）がとう（がとう）ん（ん）。

まぎ（まぎ）き（き）

爰（ここ）ろ（ろ）ぢ（ぢ）ゆ（ゆ）のまん（のまん）ぢ（ぢ）ゆ（ゆ）。あ（あ）ぢ（ぢ）ゆ（ゆ）ぢ（ぢ）ゆ（ゆ）ぐ（ぐ）ゝ（ゝ）。そ（そ）ハ（ハ）ゝ（ゝ）ゆ（ゆ）ま（ま）ん（ん）

まづ（まづ）いて（いて）おきの（おきの）ぐ（ぐ）ぐ（ぐ）ぶ（ぶ）ぁ（ぁ）。小（こ）役（やく）がりゐ（がりゐ）ゆ（ゆ）ぢ（ぢ）ぢ（ぢ）ぐ（ぐ）ぐ（ぐ）

ゆ（ゆ）ハ（ハ）て（て）まや（まや）ぢ（ぢ）う（う）。とと（とと）ぢ（ぢ）ぢ（ぢ）ぐ（ぐ）ぐ（ぐ）ぐ（ぐ）ん（ん）ろ（ろ）ぢ（ぢ）ぢ（ぢ）ぐ（ぐ）ぐ（ぐ）ん（ん）ぐ（ぐ）ぐ（ぐ）ぐ（ぐ

[illegible]ます。只いびきの[illegible]のみとくとくめ

道中膝栗毛四編上終